

行事・イベント

8月

- 15日 困：なみの高原納涼まつり
- 17日 田：あそGEOすけっち大会
(阿蘇火山博物館)
- 19日 囧：大阿蘇火の山まつり
- 24日 田：第21回火の山旗子供相撲大会(内牧小)
//：夏の杵島岳ジオツアーと阿蘇火山博物館
//：ヒューマン21文化祭(旧役犬原小)
- 25日 田：消防団標的落とし競技(内牧遊水地)
- 31日 田：第3回大阿蘇元気ウオーク(～1日)

9月

- 1日 田：中江岩戸神楽定期公演
- 7日 田：モーモーフェスタ&第67回阿蘇地域畜産共進会(みんなの森)

スポーツ施設スケジュール

(内容は7月19日現在)

●阿蘇体育館 (☎32-4000)

8月

- 9日 田：火の山旗高校バスケットボール大会(～11日)
- 25日 田：阿蘇火の山旗少年剣道錬成大会
- 31日 田：2013キッズバスケットボールサマーフェスティバル(～9月1日)

9月

- 8日 田：阿蘇郡市親善卓球大会

●農村公園あぴか (☎32-5081)

8月

- 16日 田：セルジオサッカー大会(～18日)
- 18日 田：火の山まつり野球大会
- 20日 囧：ベルギーサッカー大会(～22日)
- 24日 田：大阿蘇旗野球大会(～25日)
- 27日 囧：ファイヤーカップサッカー大会(～29日)

9月

- 7日 田：陸上記録会
- 8日 田：熊本県商工会ソフトボール大会
- 15日 田：シニアサッカー大会

阿蘇ポリス Vol.8
インフォメーション 阿蘇警察署
☎22-5110
ASO POLICE INFORMATION

～熊本県警察職員募集(警察官B・警察事務)～

県民の生命(いのち)・財産を守り、これからの熊本を背負う人材を募集しています!

●警察官B(男性・女性)

- ▶受付期間 8月12日(月)～30日(金)
- ▶試験日 10月20日(日)
- ▶試験内容 教養・作文
- ▶受験資格 18歳～27歳の人(昭和61年4月2日～平成8年4月1日生)

●警察事務

- ▶受付期間 8月12日(月)～30日(金)
- ▶試験日 9月29日(日)
- ▶試験内容 教養・適正
- ▶受験資格 18歳～21歳の人(平成4年4月2日～平成8年4月1日生)

※いずれも1次試験合格者は、2次試験を実施します。詳しくはお問い合わせください。

■採用予定数

- ▶警察官B 64人程度(男性56人、女性8人)
- ▶警察事務 3人程度

■問い合わせ

阿蘇警察署総務係 ☎22-5110

健康で明るい末永い在宅生活を支援します。

循環器内科

高血圧・心不全・不整脈・糖尿病・狭心症・腎臓病等が主な対象です。

人工透析

午前、午後、夜間および入院透析

在宅療養支援診療所

・癌患者を含む在宅患者の訪問診療／訪問看護の24時間支援・訪問リハビリ
・入院機能を生かした在宅支援をします。



医療法人 坂梨ハート会

さかなしハートクリニック

小里249番地の2
TEL 24-6262

広告

オススメ図書 新刊案内

先月号からスタートした新刊案内です。みなさんに「あっ！こんな本もあるの?!」と思ってもらえるように、いろんなジャンルの本をご案内します。

土螢～猿若町捕物帳～ ▷近藤史恵著



吉原の火事で、青柳屋の遊女・梅が枝は火傷を負った。同心・玉島千蔭は梅が枝を気遣うが、見舞いに行こうとはしない。やがて、梅が枝の身請けの話が進んでいるという噂が流れ…。『寒椿ゆれる』につづくシリーズ5作目。著者は、推理小説や児童文学など多彩なジャンルの作品を次々と生み出しており、そのどれもが高い評価を受けている。

わたしのとっておき麺

暑い夏は、やっぱり麺が食べたくなります！丸ごとトマトのパスタ、スパイス揚げうどん、ワンタン入りスープ春雨、塩豚と磯のりにゅうめん…。日ごろから麺に親しむ料理家たちのとっておきレシピを紹介します。麺料理の幅が広がるアイデアが満載です。



ザ・ロスチャイルド ▷渋井真帆著



19世紀、ヨーロッパ全土を震撼させた2人の怪物、ナポレオン・ボナパルトとネイサン・マイヤー・ロスチャイルド。2つの正義、2つの理想、男たちが目指したものは何だったのか？ロスチャイルド家とは、世界に名だたる財閥。高級ワインのラフィットやムートンのオーナーでも知られる。『赤い楯 - ロスチャイルドの謎 - 』上下巻も一緒に読むとより一層楽しめるのではないのでしょうか？

海のひみつ

海の世界のあっと驚く地形や生き物から、深海生物、環境問題まで、様々な海のひみつを迫力のある写真とイラストで解説する図鑑。先頃、深海に住むダイオウイカの動画が話題になりました。撮影は、NHKや国立科学博物館など11か国から総勢50名のスタッフが結集し、小笠原諸島周辺で行われたそうです。地球の海最後のミステリーとされてきましたが、私たちの知らない世界がまだまだあるのではないのでしょうか。



移動図書館

日程

阿蘇地区 東コース

8月6日(日)・9月10日(日)

山田公民館
13:35～13:50
下の原公民館
14:00～14:15
西役犬原公民館
14:25～14:40
竹原公民館
14:50～15:10
猿渡製材所前
15:20～15:35
坊中公民館
15:40～16:00
佐伯商會前
16:10～16:25

阿蘇地区 西コース

8月20日(日)・9月18日(日)

枳天満宮
14:20～14:40
赤水駅前
14:50～15:10
宮本酒店前
15:20～15:40
上の小屋前バス停
15:50～16:10

一の宮地区

8月22日(日)・9月19日(日)

波野保健福祉センター
10:40～11:10
坂梨公民館
13:30～13:50
古城公民館
14:00～14:20

おはなしアップルの おはなし会

パネルシアターやエプロンシアターなど内容もりだくさんのおはなし会です。ぜひ、ご家族でご来館ください。

●とき 8月31日(日)

午後2時～

●ところ 阿蘇図書館

●参加 無料

青年海外協力隊

江藤真理子さん 活動報告

独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティアのひとつ「青年海外協力隊」として、ソロモン諸島で活動中の江藤真理子さん(阿蘇市出身)の、現地での活動を紹介します。



出発前の表敬訪問時の様子

私は青年海外協力隊として、平成24年1月にソロモン諸島に派遣されました。もともと海外で働きたいという思いがあり、現地の人と同じ生活環境で長期間その国に滞在したいという思いから、協力隊に応募しました。現在は、ウェスタン州のセゲ村というところで、看護師として活動しています。

ソロモン諸島は大洋州にある島国で、大小合わせると約1000の島があります。第2次世界大戦の際は、日本軍とアメリカ軍の戦闘の舞台にもなりました。今でも各地に日本軍の戦車や大砲が残っています。

ソロモンには医師の養成機関がないため、医師の数が少ないのが現状です。数少ない医師も首都に集中しているので、私の働く診療所も含め、地方に医師はいません。そのため、患者の診察・薬の処方・傷の縫合・分娩介助など、日本では医師や助産師がすることを、ソロモンでは看護師が担っています。よってソロモンの看護師は医学の知識が豊富であり、私は多くのことを学んでいます。

一方、手洗いや手袋・エプロンの装着といった感染対策・使用したものをすぐ片付けるといった整理整頓・患者さんのサービスを第一に考えるといったことが十分ではありません。私は一スタッフとして診療業務をこなしながら、そういったことを改善に取り組んでいます。ソロモンは常夏なので、年中



入院患者の家族と記念撮影

蚊がいます。そのため、蚊が媒介となるマラリア・デング熱といった感染症が問題です。また、衛生環境が悪く呼吸器感染症(いわゆる風邪や肺炎)、皮膚感染症(傷が化膿したり、疥癬(かいせん)やシラミ)の患者さんが多いです。最近では高血圧や糖尿病といった生活習慣病も増えています。

島が点在しているので、診療所までカヌーやエンジンボートで来る人が大半なのですが、天気が悪かったりエンジンボートのガソリン代が払えなかったりといった理由で受診が遅れ、悪化してくる患者さんも多くいます。受診しても、薬がないこと

もあり(ソロモン自体に在庫がない)、申し訳なく思うことも多々あります。

生まれも育ちも阿蘇の私にとって、目の前に海が広がる今の生活を不思議に感じることはありません。そして一方で、阿蘇の山々や寒さを懐かしく感じます。村は電気も水も通っていません。

しかし、ソーラーパネルを借りて夜は電球をつけることができます。レインタンクに雨水をため、その水を使用することができます。赴任当時はそういった生活を不便に感じ、蚊やハエや蟻の多さにへきえきし、暑さがしんどく感じる毎日でしたが、人間慣れるものです。

また、晴れの日が続けばレインタンクの心配をし、雨が続けばソーラーパネルのバッテリーの心配をし、人間は自然に左右されて生きているのだなと痛感します。日本で生活していた時には感じる事がなかったあたりがたさを、ソロモンで感じる事ができたことは本当によかったです。

ソロモンは平成19年と今年の

2月に津波の被害を受けています。テレビが普及していないにもかかわらず、平成23年の東日本大震災の津波をほとんどの人が知っており、初めて会う人には必ずと言っていいほど、「津波は大丈夫だったのか」と聞かれます。その一方で、中国やマレーシア、フィリピンと同じ文化や言語と認識している人が大半です。外国の、日本に対する知識を知ることができたことも、発見の一つです。

あと半年で帰国予定です。毎日元気に生活できていることに感謝して、残りの任期を全うしようと思えます。また、帰国後も何らかの形で国際協力に関わっていきたいと考えています。



江藤さんが勤める病院

青年海外協力隊は開発途上国で活動しています。その国が抱えるさまざまな課題に対し、ボランティア活動を展開し貢献しています。